

「技能検定 防水施工 塗膜防水 学科問題集」正誤表

本書に下記の通り、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

7 アクリルゴム系塗膜防水施工法(真偽法)

正誤箇所	誤	正
p.67, 12	【答】○ 増塗りは、出入隅部などの薄塗となりやすい部位、貫通配管回り、開口部回りなどの異種材料との取合い部や防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部に対して、アクリルゴム系防水材料をあらかじめ <u>0.5～1.0kg/m²</u> 塗布する。	【答】○ 増塗り、出入隅部などの薄塗となりやすい部位、貫通配管回り、開口部回りなどの異種材料との取合い部や防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部に対して、アクリルゴム系防水材料をあらかじめ <u>0.5～1.0kg/m²</u> 塗布する。
p.69, 36	【答】○ JIS A 6021 建築用塗膜防水材料の外壁用では、温冷繰返し処理後の付着強さを <u>N/mm²</u> 以上としており、これ以上あれば既存仕上塗材を除去する必要はないとしている。	【答】○ JIS A 6021 建築用塗膜防水材料の外壁用では、温冷繰返し処理後の付着強さを <u>0.5N/mm²</u> 以上としており、これ以上あれば既存仕上塗材を除去する必要はないとしている。
p.70, 43	【答】× アンカーピン(前ネジ切り化工)	【答】× アンカーピン(全ネジ切り加工)
p.70, 46	【答】×	【答】× <u>ボンドブレーカーは、シーリング材の3面接着を防止するために、目地底に張り付けるテープである。</u>
p.70, 49	【答】○ JIS A 6021 <u>屋根用塗膜防水材料</u> の屋根用に規定されている。	【答】○ JIS A 6021 <u>建築用塗膜防水材料</u> の屋根用に規定されている。

8 アクリルゴム系塗膜防水施工法(多肢択一法)

正誤箇所	誤	正
p.72, 1	ハ 防水材料をエアースプレーで吹付ける場合には、 <u>カップガン</u> を使用する。	ハ 防水材料をエアレススプレーで吹付ける場合には、 <u>カップガン</u> を使用する。
p.72, 3	【答】ロ	【答】ロ <u>はけは、プライマー、防水材料の増塗り、仕上塗料の塗布に使用する。</u> <u>金ごては、ポリマーセメントモルタルなどを用いた下地調整に使用する。</u> <u>ゴムべらは、防水材料を下地にすり込み塗りする場合に使用する。</u>
p.72, 4	ハ <u>シーリング材</u> での防水層、 <u>汚れ</u>	ハ <u>シーリング材上</u> での防水層の <u>汚れ</u>
p.73, 6	ロ スプレーガンで吹付けするよりもローラーで塗布した方が、 <u>プライマーの飛散が少ない。</u>	ロ スプレーガンで吹付けするよりもローラーで塗布した方が、 <u>プライマーの飛散が多い。</u>
p.74, 12	【答】ニ 仕上塗料の塗布には、ウールローラーが適している <u>y.</u>	【答】ニ 仕上塗料の塗布には、ウールローラーが適している。
p.76, 22	【答】ロ イ 高粘度になるように調整する。ハ 底部や中間部で攪拌する。ニ <u>8%以上</u> が適当である。	【答】ロ イ 高粘度になるように調整する。ハ 底部や中間部で攪拌する。ニ <u>8%以下</u> が適当である。
p.80, 40	<u>伸び人数</u> とは、何人かの人で何日かかかる仕事を仮に1日で仕上げたものとして換算した総人数である。	<u>延べ人数</u> とは、何人かの人で何日かかかる仕事を仮に1日で仕上げたものとして換算した総人数である。